

食事の摂取順序が血糖値に及ぼす影響に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年7月5日～2024年3月31日
研究課題	食事の摂取順序が血糖値に及ぼす影響に関する研究
研究の概要	<p>目的及び意義：食後の血糖に影響を与えることが明らかになってきている食事の摂取順序（food sequence [FS]）は食事時に炭水化物（CHO）以外の栄養素から摂取を開始し、食事開始から一定の時間が経過してから CHO を摂取する食事方法である。本研究は、FS の効果を持続血糖モニタリング（CGM）で評価し、健常人における FS による血糖コントロールの効果を検証することを目的とした群間比較試験である</p> <p>方法：無作為化単盲検 2×2 クロスオーバー試験を実施する。本研究の主要評価項目は IGP（食事開始時と食後 180 分時点[食事開始時刻から 180 分後]との血糖値差）である。割り付けられた Sequence に沿った食事法を CGM センサー装着の 24 から 48 時間の間に開始（Period 1）し、7 日間（168 時間；1 日 3 食で 21 食分に相当）経過後、7 日間のウォッシュアウト期間を経て 15 日目に 2 つ目のセンサーを取り付けた 24 から 48 時間の間に Period 2 を開始する。本研究の主要評価項目の主解析は per protocol set 解析を、線形混合モデルで制限付き最尤法を用いて行う。必要なサンプルサイズは 14 人であり、除外やドロップアウトを考慮し、18 名のリクルートを実施する。</p> <p>対象：神奈川県立保健福祉大学栄養学科に所属する 18 歳以上の男女で研究計画書に定める確基準を満たしかつ除外基準に当てはまらないもの。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 講師 中村 翔</p> <p>【研究分担者】</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 教授 成松 宏人</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 講師 Thomas Svensson</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 博士課程 Quyèn An Trần</p> <p>栄養学科 助教 田中 琴音</p> <p>東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 特任助教 岸 暁子</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究の実施にあたっては、「ヘルシンキ宣言」、「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および本研究計画書の記載を遵守し、協力者の人権、福祉および安全を最大限に確保する。</p> <p>本研究で収集する個人情報はメールアドレスであるが、研究用のメールアドレスの使用を依頼し、協力者が研究以外で使用するメールアドレスは収集しない。本研究で収集する要配慮個人情報は調査票に含まれる情報（社会経済学的状況、健康診断結果など）、CGM データ、ウェアラブル端末データである。各データは研究責任者のみがアクセス権を有する状態でクラウド上でのみ保管する（ローカル端末の Google Drive アプリケーションで同アカウントでのログインは禁止する）。これらの情報を研究責任者が管理（神奈川</p>

	<p>県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 Lab 07 のキャビネットで施錠管理) する。突合したデータセットは同 SSD のみで管理し、複製はしない。データセットを責任者以外の研究者が用いる際には、匿名加工情報のみを秘密保護に十分配慮し取り扱う。調査票は収集後速やかに電子化し原本は廃棄する。</p> <p>さらに、CGM データ、ウェアラブル端末データの取得に必要な各個人のアカウントは協力者 ID を活用し、(contact.shi.research+協力者 ID[英数字 6 桁]) @gmail.com というメールアドレスにて事前に作成する。この研究用アカウントを用いて各協力者のデータを収集する。</p> <p>本研究の結果の公表にあたっては、協力者個人を特定できる情報が含まれないことを確認する。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者： ヘルスイノベーション研究科 講師 中村 翔

TEL : 044-589-8100 (代表)